

平成29年12月20日
大洲河川国道事務所

ひじかわ
「第4回肱川橋周辺まちづくり検討委員会」を開催します
～周辺の景観に融和したメインストリートに向けて～

国土交通省大洲河川国道事務所では国道56号の肱川橋の架け替えにあたり、平成21年度より周辺の環境、景観、まちづくり等について検討することを目的とした、学識経験者、地域住民、行政関係者で構成する「肱川橋周辺まちづくり検討委員会」を設置し、橋梁形式や道路附属物について検討を進めてまいりました。

今回は、肱川橋架け替え及び大洲交差点改良区間の歩道舗装や道路附属物についての検討を行います。

- 日時：平成29年12月22日（金）10:00～12:00（予定）
- 場所：大洲河川国道事務所 2階会議室（住所：大洲市中村210）
- 内容等：歩道舗装、道路附属物の検討について
（別紙－1：議事次第、別紙－2：委員名簿
別紙－3：肱川橋周辺まちづくり検討委員会概要 参照）
- その他：傍聴については報道機関のみとさせていただきます。
なお、傍聴、取材等については冒頭のみとなります。

【記者の皆様へ】

取材を希望される記者の皆様は、委員会の前日17:00までに以下の問い合わせ先まで連絡をお願いします。

本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.5地域の自立的・接続的發展に向けた「資国」産業競争強化プロジェクト】等に該当します。

【問い合わせ先】

○主な問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 大洲河川国道事務所 TEL：0893-24-5185（代）

副所長（道路）	いしはら 石原	ひろゆき 弘之（内線205）
○工務第二課長	たにわき 谷脇	のぶあき 信昭（内線411）
道路管理課長	ながた 永田	かずひと 一人（内線431）

第4回肱川橋周辺まちづくり検討委員会

議 事 次 第

日時：平成29年12月22日（金） 10：00～12：00

場所：大洲河川国道事務所 2階会議室

1. 開会
2. 主催者挨拶 大洲河川国道事務所長
3. 委員紹介
4. 委員長挨拶
5. 議事
 - 1) これまでの経緯
 - 2) 歩道舗装、道路付属物の検討
 - 3) 全体のまとめ
 - 4) 質疑応答
6. 閉会

「肱川橋周辺まちづくり検討委員会」 委員

平成29年12月22日

区分	所属・役職等
学識経験者	愛媛大学 名誉教授
	愛媛大学 理事・副学長 教授
	愛媛大学教育学部 教授
地域の代表	肱南地区区長会 会長
	肱北地区行政連絡部会 会長 (旧肱北地区区長会 会長)
	大洲市観光協会 会長
	大洲青年会議所 理事長
	大洲南中 P T A 会長
行政関係者	愛媛県警察 大洲警察署長
	愛媛県南予地方局 大洲土木事務所長
	大洲市 建設部長

■ 肱川橋橋梁架替事業・大洲交差点改良事業の概要

一般国道56号肱川橋橋梁架替事業は、第1次緊急輸送路として位置づけられた重要な路線の一部である肱川橋の地震時の耐震性不足の解消や河積阻害等の治水上の問題の解消、自歩道幅員の確保を目的とした事業です。

一般国道56号大洲交差点改良事業は、交差点改良及び歩道整備により視認を確保し出会い頭の事故を防止すると共に歩行者自転車安心して通行できる歩行者空間の確保を目的とした事業です。

位置図



■ 『肱川橋周辺まちづくり検討委員会』の概要

肱川橋は、肱川兩岸の中心市街地を結ぶ道路であり、橋周辺は大洲城をはじめ大洲市を代表する観光地が点在し、大洲市景観計画区域に指定されており、道路や河川の構造としての問題点の解消だけでなく、環境、景観、周辺整備等様々な観点からの検討を行うため、学識経験者、地域住民、行政関係者から構成する『肱川橋周辺まちづくり検討委員会』を設立し、検討を進めてまいりました。

肱川橋の現在の工事状況（平成29年12月現在）



委員会におけるこれまでの取り組み

第1回委員会 平成21年9月8日

大洲市景観計画を確認し、架替え橋およびアプローチ道路のデザイン方針を決定しました。

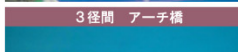


デザイン方針

- ① 修景護岸の高さを超えない控え目な形態
- ② 大洲城や豊かな周辺の自然景観に融和したデザイン、色彩
- ③ 地域の歴史・文化をより良い方向に導く橋上空間やアプローチ道路
- ④ 使い易く美しい、将来を見据えたまちづくりへの貢献

第2回委員会 平成21年12月18日

第1回検討委員会でのデザイン方針を踏まえて、デザインコンセプトを設定しました。



デザインコンセプト

風景：歴史と線に囲まれた河畔を引き立てる控え目な橋

橋上：どこから安心して景色や雰囲気を楽しめる橋

街路：地域の動脈に相応しい風格と憩いのある道

第3回委員会 平成23年7月28日

第2回検討委員会でのデザインコンセプト、歩行者空間デザイン検討の結果を踏まえて、橋梁デザイン及び橋梁付属物等のデザインを決定しました。

■ 桁下からの見え方



添架管等を通常の視点から認識しにくいように、桁間に収め、目立ちにくい色彩とすることで、通常の視点から気にならない存在としました。

■ 水位観測所デザイン



・ 現況と同様に四阿（あずまや）を備えた建屋とし、日除けを提供します。
・ 大洲城や修景護岸に合わせ、瓦屋根としています。

